

謹賀新年



宜野湾市議会議長 呉屋 等

明けましておめでとうございます。

令和6年の輝かしい幕開けを迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

旧年中は、本市議会活動に対し、格別の御支援と御協力を賜り、活発な議会運営を行うことができましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年開催されました「2023ワールド・ベースボール・クラシック」において、本市出身の宮城大弥投手がチームの世界一に貢献する活躍をみせてくれました。未来を担う子どもたちへ大きな希望を与えてくれたことと思います。

わが街宜野湾市は、琉球大学や沖縄国際大学が立地し、若者が集う教育・文化の中心地として、未来へ限らない発展の可能性を秘めております。

これから50年先を見据え、次世代に繋がるまちづくりを考えたとき、二代表制の一翼を担う、市議会の果たすべき役割への期待はますます高まっております。

市議会としましては、議会改革の一環として、議会の活動状況を報告するとともに、市民の声を市政に反映させることなどを目的に、議会報告及び市民との意見交換会を4年ぶりに対面にて開催いたしました。また、インターネット上においても意見を募り、併せて133件の貴重なご意見を市政の課題として捉え、議会で調査や検証を行い、政策立案や市長への提言に繋げるよう努めてまいります。

本年も、議会の最高規範となる「宜野湾市議会基本条例」を基に、市民の代表機関として、謙虚に丁寧に市民の負託に応え、その使命を果たすことに全力を尽くしてまいりますので、皆様のなご一層の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本市のますますの発展と、本年が皆さまにとりまして、輝きと飛躍に満ちた素晴らしい年になりますよう祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

令和6年 新春



宜野湾市長 松川 正則

輝かしい希望に満ちた新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は本市政へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

一昨年9月に行われた市長選挙において、二期目の当選を果たし、第19代宜野湾市長に就任してから2年目に入りました。

昨年は、コロナ禍からの脱却が進み、社会経済活動の正常化が進む中、本市においても「はごろも祭り」の開催をはじめ、行政活動の再開に注力してまいりました。

かねてより、市民から要望のありましたスケートボード場につきましては、市役所向かいの米軍普天間飛行場敷地内のゲート4エリア（通称・市民広場）に新たに整備し、子どもたちの居場所づくりにも取り組んでまいりました。また、FIBAバスケットボールワールドカップが開催され、本市においてもパブリックビューイングを設置するなど、大会の成功に向け尽力したところでございます。

本市の最大の課題である普天間飛行場に関しては、基地の固定化を許さず、一日も早い閉鎖・返還と返還までの間の危険性の除去及び基地負担軽減、返還後の跡地開発の具体的な協議開始の実現を引き続き求めてまいります。

また、キャンプ瑞慶覧西普天間住宅地区跡地につきましては、来年1月から琉球大学病院が開院、4月から大学医学部が開学する予定です。土地区画整理事業等による都市基盤整備、琉球大学医学部および大学病院と連携した『沖縄健康医療拠点』の形成を図り、基地跡地利用の先行モデル地区としてのまちづくりを進めてまいります。

結びに、新しい年が皆様にとって幸多き年となりますことを心から祈念申し上げ、年頭のあいさつといたします。

令和6年 新春